

# 東京東江戸川ロータークラブ

WEEKLY REPORT VOL.43

No.45 第2069回 2012.6.19

<http://e-edogawa-rc.com/>



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Reach within to Embrace Humanity

RI会長 カルヤン・パネルジー



ロータリーの力を 今こそ一つに

With All-hands of Rotary

クラブ会長 猪野弘行

- ◆ 創立 ◆ 1969年9月18日(日本で951番目) ◆ 例会日 ◆ 毎週火曜日 12:30~13:30
- ◆ 例会場 ◆ タワーホール船堀 〒134-0091 江戸川区船堀4-1-1 TEL 03(5676)5511



本日の卓話

「五大奉仕実績発表」

クラブ奉仕委員長 鈴木義雄 君

職業奉仕委員長 浅井 勲 君 社会奉仕委員長 今野健太郎 君  
 国際奉仕委員長 小野勇二 君 新世代奉仕委員長 嶋村文男 君

次回の卓話

最終例会

「三役退任挨拶」

会長 副会長 幹事  
 猪野君 鈴木(義)君 田村君

《 6月12日例会報告 》

夜間例会 PM6:30~

点 鐘

ロータリーソング「我等の生業」

来賓紹介

◎ゲスト 0名

◎ビジター 3名(夜間移動例会のため受付のみ)

田中伴司氏、高田信一氏(江戸川)

高橋繁幸氏(江戸川中央) 以上3名

出席報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正率
32名	25名	78.13%	100%

幹事報告

○本日、例会に引き続き、第5回クラブフォーラム開催。

○6月14日(木)PM3:00~ガバナー事務所B1階会議室にて、(在京)米山奨学委員会全体会開催。嶋村次年度地区米山奨学委員出席。

○6月14日(木)PM6:00~「トライアール」にて、第8回東分区会長幹事会開催。猪野会長、田村幹事出席。

○東京中野RC名称変更のお知らせ

7月1日より

東京セントラルパークロータリークラブ

例会臨時変更のお知らせ

6月25日(月)

・東京池袋西RC、東京上野RC → 夜間例会

6月26日(火)

・東京江東RC、東京葛飾中央RC、東京板橋RC → 夜間例会

《卓話》

6月12日の卓話は、「第5回クラブアッセンブリー」でした。



第5回クラブフォーラム(新世代奉仕)報告

日 時：平成24年5月22日(火) PM6:30~

場 所：小岩「ニューオークラ」

出席者：浅井、阿部、石橋、猪野、今野、岡村、荻原、小野、城戸、嶋村、須賀、鈴木(富)、鈴木(義)、春原、田中、塚田、中川、仲川、中村、茂手木 (50音順・敬称略) 20名

会長 ◆ 猪野 弘 行  
 副会長 ◆ 鈴木 義 雄  
 幹事 ◆ 田 村 亘

会報・雑誌委員会 ◆ 一樹 靖人・嶋村 文男・中村 新一郎  
 事務局 ◆ 〒133-0056 江戸川区南小岩6-31-8 福島ビル2F AのB室  
 TEL 03(5612)1767 FAX 03(5612)1774

猪野年度最後の第5回クラブフォーラムが開催されました。

今回の新世代奉仕のフォーラムのテーマを「ローターアクト」に絞らせて頂きました。次年度よりその活動を再開するに当たり、クラブメンバー全員に、今までの経験を踏まえた上で、意見や様々な思いを集約する目的で、事前にアンケートを実施しました。お蔭様でメンバー20名の方よりアンケートを頂き、フォーラムでは出席者全員の思いを聞くことが出来、今後の活動に大変に参考になりました。その中で、ローターアクトの活動が活発に行われる時期から停滞する時期へと変遷していく過程での問題が浮き彫りになってきました。それはロータリアンとローターアクターの交流の機会の喪失とRACメンバーの確保。そしてその活動と共にRAC例会の充実(運営)がポイントであると感じました。

最後の茂手木カウンセラーの講評では、ロータリアン自身が新世代(ローターアクター)の人々を通して、奉仕を実践する自分自身のロータリー活動を見つめ直す機会とする事が大切であると話をしてくれました。

多くのメンバーの期待(注目)の中で、東京東江戸川ローターアクトクラブが動き出します。RACの持続・維持するかは、ロータリアンがどう見守るか、どう指導していくかがアクターの自主性の尊重と共に、大事になってきます。

メンバーの“大きな包み”で、ご協力をお願い致します。

(記: 嶋村文男)

### 第3回日台ロータリー親善会議参加報告

日時: 平成24年6月1日 13:00~19:45

場所: ホテルグランヴィア京都

参加者: 猪野、石橋、嶋村、中村 (50音順・敬称略)

上記のとおり、「日台ロータリー親善会議」が開催され、日本より421名、台湾より204名、総勢625名の方々が参加し、当クラブからは4名が参加いたしました。そして次のようなすばらしく充実したプログラムにて進行しました。

○開会の辞 RI第2650地区ガバナー 今西信裕様

○歓迎の辞 日台ロータリー親善会議総裁 前川昭一様

○祝辞 台日国際扶輪親善会理事長 林士珍様

祝辞 RI理事 近藤雅臣様

祝辞 TRFトラスティ・RI元理事 謝三連様

祝辞 RI元副会長 黄其光様

○台湾ロータリー近況報告

台日国際扶輪親善会副理事長 頼崇賢様

○日本ロータリー近況報告

日台ロータリー親善会議顧問 多田宏様

○台日国際扶輪親善会よりの義援金のお礼及び報告

日台ロータリー親善会議名誉会長 上野操様

○記念講演 「人間の絆」RI元理事 千玄室様

○ご挨拶 RI第2650地区パストガバナー 平井義久様

○感謝 台日国際扶輪親善会常務理事 洪学樑様

○エンターテイメント 「京小町踊り子隊」

「ハーブ演奏 内田奈織」

その中で特に心に残ったのは、千玄室様のお話の中の「無財の七施」でした。

①目施(げんせ)~やさしい眼差しで相手に安心感を与える

②顔施(がんせ)~にこやかな顔つきで親しみを表す

③身施(しんせ)~自分の体を動かして相手の為になる事をする

④心施(しんせ)~相手に対する気配り、心配り、思いやり

⑤言辞施(げんじせ)~温かい言葉をかけ、相手の心を和ませる

⑥床坐施(しょうざせ)~自分が坐っている場所を譲ってあげる

⑦房舎施(ほうしゃせ)~自分の住まいの一部を誰かに提供する

以上、すばらしい教えではないかと思います。これからもロータリーの精神に基づき、日本と台湾が親密な関係を保ちつつ、平和を願って発展していくことを心からお祈りいたします。

楽しい一日、ありがとうございました。

(記: 中村新一郎)



## 第1回全国インターアクト研究会参加報告

日時：平成24年6月2日(土)13:00~3日(日)正午

場所：神戸女子大ポートアイランドキャンパス

神戸ポートピアホテル

2月5日(日)に開催された第5回全国RYLA研究会に嶋村新世代奉仕委員長と参加したときに、海沼美智子RI-RYLA委員会委員から、全国規模でのIACの大会を6月に催したい旨が発表されましたが、200人近い(顧問教師含)方々が集まる大規模な大会になるとは夢にも思いませんでした。前日の金曜日が遅かったので、新幹線の中で鋭気を養い、早めの会場到着となりました。

2680 地区久野ガバナーから点鐘後開会のお言葉を頂き、元RI理事 黒田大会委員長、海沼さんがご挨拶され、三木大会実行委員長から「つなぐ・むすぶ・行動する」インターアクト・ネットと題して、全国のIA活動が点ではなく線となり、より交流が深まり成果が生まれる様に導きたいとの趣旨の説明がありました。

続いて復興支援から生まれた交流として、滝川中学・高等学校IACと仙台育英学園高等学校IACの顧問教師先生方から、素晴らしい事例をお話頂きました。

研修プログラム分科会では「環境活動」「福祉活動・医療関係」「教育」「地域貢献・災害援助」「滞在外国人援助・海外援助・国際交流」と5つに分かれて、年次大会のアクターさながら全国の顧問教師の先生方が活動発表しながら討論会を繰り広げました。私は教育部門に参加し、発表の中で山形電波工業高等学校IACは8名ながら、提唱している天童RCのメンバーが常に5~6名例会や活動に積極的に参加しており、とてもバランスのとれたクラブだと思いました。また同じく山形県の九里学園高等学校IACは米沢RC・上杉RCと二つのRCが提唱していて、何と学校生徒全員がIACに所属していると聞きびっくり仰天致しました。しかしこのIAC以外は活動内容が素晴らしくても、ロータリアンの参加が少なく先生主導で歩いており、本来の姿と違うのではないかと疑問に思える点が多々ありました。

ホテルに会場を移しての懇親会では全国のロータリアンとの親睦を深め、特に私のテーブルでは共に地区新世代奉仕委員長の、東海林ご夫妻(遠軽R

C)、樋口さん(神奈川RC)、野口さん(東松山むさしRC)、草野幸子さん(長崎出島RC)、そして地区IA委員長の益田さん(横浜泉RC)、伊藤さん(釧路ベイRC)、中尾さん(佐賀北RC)と話が盛り上がり、IAに関するR談義は二次会~三次会へと日を跨いで続いてまいりました。



各々寝不足で迎えた2日目は昨夜の宴会場を様変わりして、各分科会の発表からスタートしました。そして発表後に次年度に向けてIA神戸宣言がなされました。その内容は「全国が手をつなぎ情報を共有します。クラブ間の理解を深め、絆をむすび地域の活動に活かします。世界の未来のために行動します。」無論満場の拍手で採択されました。基調講演では元RI理事の今井鎮雄パストガバナーが「インターアクトに期待するもの」と題して、ご高齢にも関わらず立ったまま80分余り熱弁をふるいました。その中で若い人をどうやって育てるか『New Generation』を何度も言葉にされていたのが印象的でした。

黒田大会委員長も田中作次RI会長エレクトから「My Rotary Story」と言う原稿提出を求められ、学校医として職業奉仕を実践するだけでなく、その学校にIACを創立して、アクターと共に社会・国際奉仕を実践したことがR活動の原点とお書きになるくらい、この地区の方々には本当にIAに熱心に情熱を注ぎ込んでいることは良くわかりました。が現実問題としてその活動内容が先生主導である事も否めません。そういう意味で2580地区はロータリアン・顧問教師・アクターのトライアングルがとてもバランスが良いと言う事が再認識出来ました。

大きな輪(和)となって手に手つないでを唄って無事閉会点鐘となりました。

第2会以降はロータリアンが発言出来る場がある研究会だと、さらに盛り上がるのではないのでしょうか。私としては不完全燃焼の大会でした。その分

夜遅くまで喋りすぎてしまいました…(笑)

最後に大会実行委員会の皆様大変お疲れ様でした。お世話になりました。

(記：岡村利之)

### 第10回家庭集会報告

日時：平成24年6月5日(火) PM6:30～

場所：市川 関西割烹「白藤」

ホスト：猪野会長

参加者：浅井、阿部、猪野ご夫妻、今野、小野、鹿野、鈴木(義)、田村、中村、茂手木、森本、嶋村

(50音順・敬称略) 13名猪野年度最後の家庭集会在、猪野会長と奥様に迎えられ開催されました。初めての被選理事会を行った場所ということで、名店「白藤」で締めたいという猪野会長の思い入れ一杯の家庭集会となりました。

鹿野さんの乾杯で宴席はスタートしました。勿論料理は和食のフルコース。特に蛤のお椀は秀逸でした。翌日が猪野会長杯ゴルフコンペということもあり、初めは皆手探りの感もありましたが、メンバーの荻原さんからの差入れの“泡盛”が登場する頃にはお酒の量も増え大いに盛り上がりました。

途中ホストの猪野会長から、ロータリーに入って出会った“人”とのエピソードとは、というテーマが出されました。人との出会いを大切にされている猪野会長ならではのテーマで各人が様々な思いを語ったことは言うまでもありません。しかしその中には“ロータリーは心である”という事は一致していると感じました。

全員、今年度もあとわずかであるという安堵感と、猪野会長ご夫妻のおもてなしのお陰で思い出深い家庭集会になりました。感謝。

(記：嶋村文男)

### 第3回 猪野会長杯ゴルフコンペ報告

日時：平成24年6月6日(水)

場所：源氏山ゴルフクラブ

参加者：浅井、浅井令夫人、阿部、猪野、岡村、荻原、城戸、鹿野、春原、田村、中川、仲川、平田、村山、森本、中村(16名)

懇親会のみ参加者：猪野令夫人、鈴木(義)、茂手木(順不同、敬称略)



上記のとおり第3回猪野会長杯ゴルフコンペが、中川さんのお力添えにより、盛大に開催されました。

台風の接近で朝から風と雨にみまわれ、スタート時点ではコンディションが悪く、皆さん苦戦しておりました。しかし、まもなくすると不思議にも静かな天候となりお日様も顔をのぞかせていました。

今回も「歓声」と「反省」の音がフェアウェイに響きわたっておりましたが、そんな時はボールはOBでしょうか？でも最後は全員が笑顔で終了することができました。

さて、成績は優勝 鹿野さん、準優勝 田村さん、第3位 中川さん、第4位 猪野さん、第5位 平田さん、以上ベスト5の実力者の方々でした。

年間 MVP も鹿野さんが獲得しました。本当におめでとうございます。

今回も怪我もなく終了し、本年度3回のゴルフコンペが滞りなく終了したことは、皆様のご協力の賜です。感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



(記：中村新一郎)